

別記3 「調査書」の作成について

1 作成に当たっての注意

- (1) 鮮明に記入する。なお、必要に応じてゴム印、パーソナルコンピュータ等を用いてもよい。
- (2) 記入する数字は、全て算用数字を用いる。ただし、現住所については、漢数字を用いてもよい。
- (3) 誤記等のため訂正をする際は、2本線を引いて訂正し、中学校長等の印(私印)を押印する。
- (4) 提出する調査書は、原本を複写したものに、中学校長等の職印を押印したのもよい。
- (5) 生徒氏名の表記は、中学校生徒指導要録等に従って記載する。
- (6) 「特別の教科 道徳」の評価は記載しない。

2 様式

県教育委員会の定める下記の様式で作成する。

- (1) 知的障害がある場合・・・様式3 (11頁)
- (2) 知的障害がない場合
 - ア 令和7年3月に中学校等若しくは特別支援学校中学部を卒業見込の者、
令和6年3月に中学校等若しくは特別支援学校中学部を卒業した者 ……様式4-1 (13頁)
 - イ 令和5年3月に中学校等若しくは特別支援学校中学部を卒業した者 ……様式4-2 (14頁)
 - ウ 令和4年3月に中学校等若しくは特別支援学校中学部を卒業した者 ……様式4-3 (15頁)
 - エ 令和2年3月から令和3年3月に中学校等若しくは特別支援学校中学部を卒業した者
……………様式4-4 (16頁)
- (3) 中学校等若しくは特別支援学校中学部卒業後5年を経過した者については、卒業証明書及び住民票の提出をもって、調査書の提出に代えることができることとする。
- (4) 様式を踏まえれば、パーソナルコンピュータ等により用紙を作成してもよい。

3 記入上の注意

- (1) 「調査書」(様式3)について
記載事項、記載要領等は、中学校生徒指導要録等に準ずるものであるが、次の点に留意して記入する。(12頁の[記入例]を参考にする。)
 - ア 「学籍の記録」
元号、入学、卒業等については、該当事項を○で囲む。
 - イ 「学習の記録」
第3学年における主な学習状況を具体的に記入する。
 - ウ 「学習の記録に関する特記事項」
学習場面における興味・関心、行動特性等について記述する。
 - エ 「障害の記録」
 - (ア) 「知的障害」については、知的障害特別支援学級在籍の有無等を記入する。
 - (イ) 「障害の記録」の「有無」欄については、知的障害以外の障害も有している場合、その該当障害区分に○を付け、障害の概要等を記載する。
 - オ 「出欠の記録」
卒業見込みの生徒の第3学年の記録は、12月末までの状況を記入する。
 - カ 「総合所見」
生徒の学習の状況や生活の状況など全体的特性を総合して、具体的に記入する。
- (2) 「調査書」(様式4-1、様式4-2、様式4-3、様式4-4)について
様式4-1、様式4-2、様式4-3、様式4-4の作成に当たっては、「令和7年度群馬県公立高等学校入学者選抜実施要項」の様式3-1(31頁)、別記3「調査書」の作成について(19頁～20頁)に準ずる。